

背景

当社は1981年の創業以来、造船所、湾港、製鉄所などで使用される**大型クレーンの電気室や制御盤**をオーダーメイドで製造する製品を手がけてきた。



損失の原因を模索して

同社では、顧客ごとにカスタマイズされたオーダーメイドの製品を取り扱っている特性上、製造過程において**設計変更が頻繁に発生していた**。そのため、最新情報の共有が追いつかず、**情報の抜け漏れや伝達不足**によって作業のやり直しが多発し、**業務効率の低下**を招いていた。

ITベンダーに依頼し、生産管理システムを導入するも...

課題解決のために生産管理システムの導入を試みたが、**設計変更への柔軟な対応が難しく、システムのカスタマイズには追加費用が発生する**など、**運用面でも多くの制約**があった。

業務改善への転機

セミナーへの参加を機に...

そうした状況の打開策を模索する中で、**kintoneのセミナー**に出席する機会があった。当時はまだ一般的ではなかったkintoneに対し、自社の業務に適したシステムを、**自分たちで自由に仕様を試しながら開発**できるという**柔軟性に大きな可能性を感じ**、従来のシステムでは対応が難しかった**設計変更にも柔軟に対応できる**ことから、**他社に先駆けてkintoneの導入を決定**。

まずは、人事台帳、弁当発注アプリ、体温記録アプリなど、比較的簡単に開発でき、かつ幅広い社員が利用するアプリから**スモールスタート**で導入を開始した。これらアプリの導入を機にkintoneのシステムの利用を促し、**全社員のシステムに対する意識改善**を目指した。

取組の結果

システムの導入により社内デジタル化と業務効率化が加速！

こうした改善の結果、kintoneを活用したシステム化が進み、複数のアプリの導入に成功し、特に、原価管理アプリの開発・導入によって、**これまで原価管理に必要な情報の収集と集計に約1週間を要していた作業が、リアルタイムで損益計算できるようになり、業務のスピードと精度が大幅に向上に貢献している**。また、定性的な変化として、**社内におけるDXマインドの醸成が進んだ**ことも大きな成果。kintoneの導入をきっかけに、現場の社員からも業務改善に関するアイデアや提案が自然と出てくるようになり、**自分たちの業務をより良くしていこうという意識が社内に広がった**。さらに、こうした取り組みを通じて、社員一人ひとりがデジタル技術への理解を深め、**ツールを活用して課題を解決する力を身につけることで、デジタル人材の育成にもつながっている**。



デジタルライゼーションからDXへの変遷！

デジタル化による業務効率化の知識や経験に加え、**長年培ってきた地域企業とのつながりや地域の特性への理解**を生かし、同社はシステム開発・導入支援を行うコンサルティング事業を**新事業として開始**。こうした取組全体を通して経済産業省が選定する**「DXセレクション2022」**に認定された。現在は、地域全体の活性化も視野に入れつつ、**地域で助け合いながらDXを推進する「地域自己解決型のDX推進」**に取り組んでいる。さらに**ノンデスクワーカー向けkintone操作支援ツール「ハンディマスター™」**も自社商品としてリリース。さらなるDX推進に一役買っている。

企業情報

・事業内容	制御盤・高低圧配電盤・分電盤・操作盤・監視盤の設計、製作、現地試運転調整
・所在地	愛媛県新居浜市多喜浜6丁目6番35号
・電話番号	0897-46-0394
・ホームページ	https://g-nishioka.co.jp/nishiki/company/